



資料3 令和4年度綾瀬市市民満足度調査結果の報告について

◆ 概要

令和4年度綾瀬市市民満足度調査の報告書がまとまりました。

この調査は、綾瀬市が重点的に実施している35の施策について、「満足度」と「重要度」について調査を実施したほか、「居留意識」や「定留意識」等についてアンケートを行ったものです。

◆ 調査結果

【「居留意識」、「定留意識」調査】

居留意識では約8割が「住みよい」と回答しており、前回調査(平成29年度)と比較して4.7ポイント上昇しました。

定留意識では全体の4分の3近くが「定住したい」と回答しており、「転出したい」の回答は、平成9年度の調査以降初めて1割を下回りました。

【「満足度」、「重要度」調査】

35の施策のうち、それぞれ上位、下位の施策は次のとおりでした。

	上位3施策	下位3施策
満足度	健康づくり	地域で支え合う福祉活動
	資源の利活用	人権擁護、平和活動
	防犯対策	コミュニティづくり
重要度	防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	人権擁護、平和活動
	地域医療	商業観光、観光振興
	資源の利活用	スポーツ

◆ 調査手法等

調査地域：綾瀬市全域

対象者：満18歳以上の市民3,000人

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法：郵送配布・郵送及びWebの併用回収

調査期間：令和4年7月16日(土)から8月12日(金)

回収率：40.4%(前回の回収率28.8%)

◆ その他

報告書及び概要版は、市ホームページ及び市内各公共施設等で公表します。

